

# しせいかい

Shiseikai



日本医療機能評価機構認定病院  
機能種別版評価項目 3rdG : Ver.2.0

夏の号

vol.94  
2020.8



平和病院 庭園にて撮影

## Contents

- 新型コロナウイルス感染症についてと当院の感染対策
- 新型コロナウイルスに関連したメンタルヘルスについて
- 自分らしい生活をサポートします
- 作業療法便り
- この夏のありんくりん

ホームページアドレス <https://shiseikai-heiwa.com/>

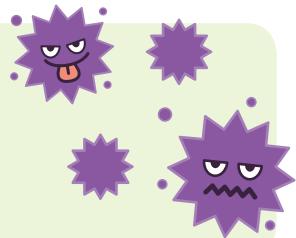


# についてと当院の感染対策

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

### 概要

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、新種のコロナウイルスによって引き起こされる感染症です。COVID-19によって起こる症状のほとんどは軽度から中程度であり、特別な治療を受けずに回復します。



### 1. 主な症状

最もよくあらわれる症状は、①発熱、②空咳、③倦怠感です。味覚障害・嗅覚障害、その他（咽頭痛、鼻汁、下痢・嘔吐、結膜炎など）が出現することもあります。いずれにしても、新型コロナウイルス感染症に特徴的な症状はなく、症状だけで明確に区別することは困難です。



初期に出る症状は、風邪との見分けがつきにくいため、不安に感じる症状があれば、各都道府県のホームページに記載してある帰国者・接触者電話相談センターもしくは相談ダイヤル（新型コロナウイルス感染症専用ダイヤルなど）に相談しましょう。

### 2. 感染経路

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を引き起こすウイルスは、主に感染者による咳やくしゃみ、または息を吐いた際にでる飛沫を通じて感染します。これらの飛沫はその重みのため、空中には浮遊せず、すぐに床や物の表面に落ちます。

COVID-19感染者の近距離にいる際にウイルスを吸い込んだり、汚染された物に触れてから自分の目、鼻、口に触れたりすると、ウイルスに感染する可能性があります。

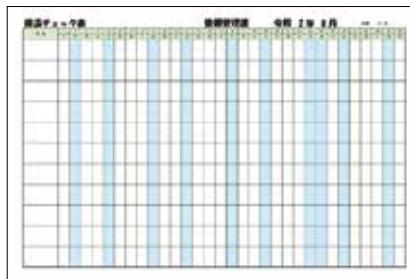


# 新型コロナウイルス感染症

当院では  
新型コロナウイルス感染症対策を実施しています

## 1 病院職員の体調管理と感染予防行動の徹底

出勤前の体温測定、マスク着用・  
手指衛生の徹底、不必要的外出の  
自粛



## 2 3密を避けた環境づくり

病室の換気、会議・勉強会などの  
中止、定例行事の中止、必要事項は  
院内メールで周知



## 3 標準予防策および感染経路別予防策の徹底

マスク・フェイスシールド・手袋・ガウンの着用



飛沫感染対策（マスク着用）・接触感染対策（アルコール清拭・個室化、カーテンでの仕切り）



正面玄関での全ての来院者へ検温・入院患者様への面会制限

# 新型コロナウイルスに関連した メンタルヘルスについて



沖縄県では令和2年4月30日を最後に新型コロナウイルスの新規感染者の報告はなく一旦は落ち着きを取り戻した様子でしたが、7月8日に新たな新規感染者の報告があり、以後、予断を許さない状況となっています。

新型コロナウイルスの発生後より、マスクの着用、手洗い、他者と距離をとることが全世界的に生活していく上の基本となり、それを踏まえた上で「新しい生活様式」が提示され、我々の日常が変わりました。

当院においても、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に努め、感染しない、感染させないことを大前提とした対策をたてていますが、今回は感染対策ではなく、一般の方の新型コロナウイルスに関連したメンタルヘルスについて考えてみたいと思います。

新型コロナウイルスの影響で「不要不急」の外出自粛要請がなされ、以後、自宅で過ごす時間が増えていると思います。その影響で太ってしまった、外出ができずストレスが溜まる、極度に心配しすぎてしまうなど、身近なところでも色々な声を聞きます。

この「不要不急」という言葉が新型コロナウイルスに関連したメンタルヘルスを考えていく上で非常に重要なキーワードになるのではないかと感じています。「不要不急」とは言い換えると「生活していく上で不必要なこと、急がないこと」ということになるかと思いますが、では生活していく上で不必要なことって何でしょうか？皆さん想像してみて下さい。

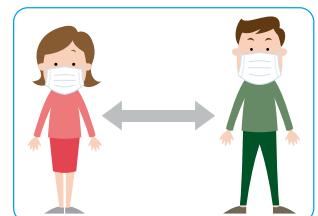
人は生きていく上で食べないと生きていけませんが、例えば音楽を聴かなくても生きてはいけます。しかし、ここで忘れてならないのは、人はただ生きているのではなく、生活していく中で「豊かさ」を感じ、様々なストレスを解消しながら生活しています。

生命の維持だけを考え、多くのことを「不要不急」といって切り捨ててしまうと、その中にある「豊かさ」が見過ごされ、メンタルヘルス上よくない影響を及ぼすことが考えられます。

まずは健康を保つために睡眠、食事を規則正しくとることが基本となります、その上で、ご自身にとっての「不要不急」、つまり、自分が生きていく上で大事にすべき優先事項は何かをこの機会に考え、感染防止には十分配慮しながら、意識的に生活の中で「豊かさ」を感じていくことが重要だと考えます。

人と会話（通話）し考えていることを口に出すこと、没頭できることを見つけ楽しむこと、体を動かすことなども大切だと思いますので、参考にして下さい。

最後に、新型コロナウイルスの影響でこころの不調を感じた場合は、当院へご相談下さい。



# 自分らしい生活を サポートします

医療法人社団 志誠会 障がい福祉サービス事業所  
宿泊型自立訓練事業所／グループホーム

宿泊型自立訓練事業所  
桜邸



利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、一定の期間、生活能力の維持、向上等のために必要な訓練や支援を行います。

#### 入所定員

20名(標準期間2年間)  
電話番号 098-974-6100

グループホーム  
キャンプ・グリーンヒル



主に就労訓練を通じて社会参加を促進。集団生活において規則や社会性を身につけ、地域で自立した生活が送れるよう個々に合った支援を行っています。

入所定員 20名  
電話番号 098-974-6000

グループホーム  
瑞穂邸



個室に加えて広めの共有スペース。ゆったりとした環境で、できることは自分で行い出来ないことは本人の課題として取り組むといった個々に合わせた生活支援を行っています。

入所定員 20名  
電話番号 098-975-2500

グループホーム  
一葉邸・二葉邸



キッチン、トイレ、シャワー等を備えたワンルームタイプ、訪問での対話を通して、利用者の健康管理や食生活指導等、より自分らしい生活が送れるよう支援を行っています。

入所定員 11名  
電話番号 098-974-6000

自分らしい生活を応援します

志誠会が運営している障がい福祉サービス事業所には4つの入所施設があり、それぞれの施設で機能や特色が違います。

例えば「退院後の生活が不安、出来る事を少しづつ増やして行きたい」、「一人暮らしに近いような、自立した生活を送りたい」など、様々なニーズによって施設を選ぶ事が出来ます。

「その人が、その人らしい生活を送る」事を、職員一同サポートしていきたいと考えています。

詳細は、各事業所までお問い合わせ下さい。

## ～つまみ細工でリフレッシュ～

作業療法便りを担当します。上間寿美です。よろしくお願いします。今回の報告は作業療法のプログラムで新しく取り組んでいる『つまみ細工』についてです。



作業療法士：上間 寿美

つまみ細工は、江戸時代から伝わる技法で、布を正方形に切り、折りたたんで、つまんで組み合わせることによって花などの形を作ります。和服に合う髪飾りなどが代表的で、舞妓さんのかんざしなどに使われている技術です（写真参照）。京都でもつまみ細工を体験できるお店があるそうです。



普段は作業に興味を示さない患者さんが、「これを（つまみ細工）作れる」と聞いて手工芸班に来ました！！！」と企画した私たちにとって嬉しい一言もありました。

つまみ細工を行うことで、つまむなどの細かい動作や、力加減、感情のコントロールや集中力を高める訓練、指先を動かしたり、感覚や視覚からの刺激、構図や色合いなどを考えることで

脳を活性化させるなどのリハビリ効果が期待できます。

しかも、出来上がりとして、ぱーっと華やぐような見栄えが良い作品が完成するため、「作ってよかった」や「私ってすごい」というような達成感や自己肯定感も得られやすいと考えています。

作り方の説明をするために作ったモデルを見ながら、患者さんが色々と相談したり、丁寧に仕上げてくださった姿をみると、私も大変嬉しかったです。

今後も患者さんが楽しんで積極的に集中して取り組み、見栄えが良く、家族などに自信を持ってプレゼントできるような作品を作っていくように、私たちも勉強していきたいと思います。

この夏の

# ありんくりん



## 新型コロナウイルス感染症に関する対応について学びました

7月8日沖縄県医師会館において、精神科病院及び精神病床を持つ病院の職員を対象に「精神科病院COVID-19対応に関する教育研修会」が開催されました。講師は、県担当官や各指定病院の先生方をお招きし、新型コロナウイルス感染症の基礎知識及び感染防護、ゾーニング、精神科病院における感染症対策等について学びました。研修に参加された方々からも「報道では聴けない実際を聴けてよかったです」「長く続けられる対策を考えたい」などの感想も聞かれました。



平和病院にてオンライン研修会

## 陽光館の池に鯉がやってきました！



厳しい暑さが続くなか、陽光館では常設された池の修繕作業が行われました。

修繕された池では、水が流れ鯉が涼しげに泳いでおり、観賞する人を癒し涼やかな気分にさせてくれます。

利用者は鯉の観賞をいつも楽しみにしています。



↑涼しげに泳いでいる鯉の様子



↑介助を受けながら池の鯉を観賞する利用者

## 盛夏祭中止のお知らせ

毎年8月に開催している当院夏祭り「盛夏祭」について、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止することを決定致しました。

今後第2波、第3波が懸念され、感染リスクを完全に回避できないことから、療養者・観客の皆様の安全を考慮し判断いたしました。開催を楽しみにしていた皆様には、お詫び申し上げるとともにご理解をいただきますよう、よろしくお願ひ致します。

このような状況が一刻も早く終息し、次年度は盛大に「盛夏祭」を開催できることを願っています。

### 設立理念

1. 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
2. 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
3. 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
4. 地域精神医療を行う
5. 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
6. 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

### 患者憲章

- 平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。
- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
  - あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
  - あなた様には知る権利があります
  - あなた様には自己決定する権利があります
  - あなた様には責務があります

### 基本方針

当院は、自然環境を活かし、アメニティーの充実を図ると共にチーム医療における質の高い医療を追求する。また、医療・保健・福祉における連携および患者様の人権を尊重し、患者様並びに家族との相互理解を深め、地域のニーズにあった信頼される医療を提供する。



精神科・心療内科

**平和病院**

病床数：212床（内 指定病床17床）

- 精神科救急入院病棟（スーパー救急） □ 精神療養病棟 □ 精神科訪問看護 □ 精神科デイ・ケア  
受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00 木・日・祝祭日は休診  
電話:098-973-2000 住所:うるま市字上江洲665番地  
□ 相談支援事業所せいかい（指定特定相談支援事業）



介護老人保健施設

**陽光館**

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

- 介護老人保健施設陽光館入所 □ 短期入所療養施設陽光館 □ デイケアセンター陽光館 電話:974-4000  
□ ホームヘルプサービスセンター陽光館 □ 居宅介護支援事業所陽光館 電話:974-8000  
受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館  
住所:うるま市字上江洲661番地  
□ 認知症グループホームあおば邸 電話:974-9770 住所:うるま市字上江洲708-1  
□ うるま市地域包括支援センター具志川ひがし 電話:974-4001 住所:うるま市宮里265-4



医療法人社団志誠会

**障がい福祉サービス事業所**

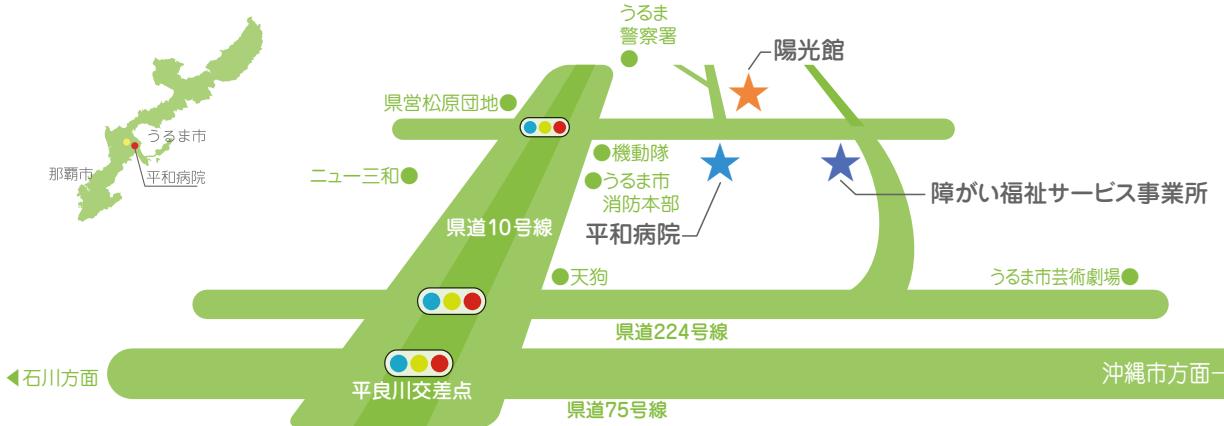
- グループホームせいかい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所）電話:974-6000  
□ 自立訓練事業所せいかい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所）電話:974-6100  
□ 就労訓練工場せいかい（就労継続支援B型）電話:973-0030

**職員募集 パート特集!!**

志誠会では「**介護職・ヘルパー非常勤・調理員・清掃員・製パンスタッフ・送迎員**」等の職員を募集しています。

その他職種も募集していますので、興味のある方はホームページをご覧ください。

098-937-9590（平和病院 総務課）

**各施設へのアクセス****編集後記**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が出され、さまざまイベントや計画も中止となり、非常にさみしい期間となってしまいました。皆様はどういうふれで過ごしてでしょうか。またコロナ禍の中での楽しみ方をお持ちでしょうか。

今回発行の広報誌では、新型コロナウイルス感染症について掲載しました。その中で、メンタルヘルス（心の健康）に関しては、「意識的に生活の中で「豊かさ」を感じていく事が重要」と書かれております。ご参考までに是非一読下さい。

来年は、オリンピックをはじめ、さまざまなイベントが開催され、生活中での「豊かさ」を感じたいと個人的に思っております。感染症の一日も早い終息のため、みんなで感染拡大防止を徹底し、この難局をなんとか乗り越えましょう。

（伊藝 幸政）